

# 諫干見学会

諫早湾干拓にぎわい創出協議会

諫早湾干拓をもっと知ってもらいたい。その思いから見学会を開催します。「歴史」「防災・環境」「農業」という3つのテーマでコースを設定し、ガイドによる説明を受けながら干拓地内を巡ります。それぞれの視点から「いさかん」を感じてみませんか？

## (1) 歴史

なぜ諫早湾干拓事業が行われたのか。それは諫早市の歴史を知ることが重要です。諫早市は、ガタ土との戦いや干拓、本明川や背後地における高潮・洪水被害等と共に歩んできたと言っても過言ではありません。先人たちの知恵や努力を深く理解することで、諫早湾干拓事業の役割が見えてきます。

## (2) 防災・環境

諫早市は台風の通り道で、高潮被害や集中豪雨が発生しやすい地形です。昭和32年には、諫早市を中心とした集中豪雨により未曾有の大水害が発生しています。諫早湾干拓事業が、本明川や背後地において、いかに防災効果を発揮しているかを現場を巡って感じてください。

## (3) 農業

諫早湾干拓地は、平成20年4月から営農を開始して以来、調整池を水源とする農業用水を利用し、大規模で平坦な優良農地を活かして環境保全型農業を展開しています。長崎県では、更なる省力化、低コスト化等による環境保全型農業技術体系や、諫早湾干拓農産物のブランド化と需要拡大の目的に向けての生産技術等の確立を目指しています。そのような、環境に配慮した農業や諫早湾干拓農産物のブランド化への試験研究を見学（体験）することにより、諫早湾干拓が日本の農業をリードするモデル的な農業であることが解ります。

# 諫早見学会コース〈例〉

10箇所の見学場所を3つのテーマで組み合わせています（組み合わせは自由）

① 干拓資料館 30分	② むつごろう水族館 30分	③ 中央干拓地内部堤防・干陸地 40分	④ いさはや新池（調整池） 60分	⑤ 諫早湾干拓営農支援センター 30分	⑥ 諫早湾干拓堤防管理事務所・北部排水門 30分	⑦ 雲仙多良シーライン中央駐車場（潮受堤防） 20分	⑧ 中央干拓地揚水機場・排水機場 20分	⑨ 農林技術開発センター 60分	⑩ 長崎河川国道事務所諫早出張所 40分
-------------------	----------------------	---------------------------	-------------------------	---------------------------	--------------------------------	----------------------------------	----------------------------	------------------------	----------------------------

・干拓の歴史を知る。

・本明川・干拓地の生き物たちに触れる。

・雄大な景観を感じる。

・調整池の自然を体験する。

・干拓地での営農を知る。

・干拓事業の役割を知る。

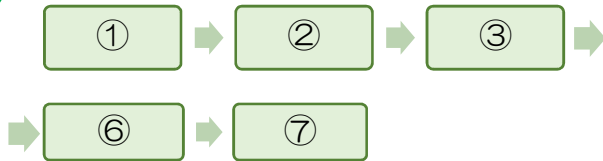
・雄大な景観を感じる。

・ポンプのしくみを知る。

・県の農業の取り組みを知る。

・本明川の自然に触れる。

## 歴史

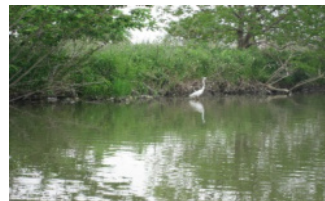


樋門に押し寄せたガタ土の状況（千鳥川）

人力によるミオ筋の確保



## 防災・環境

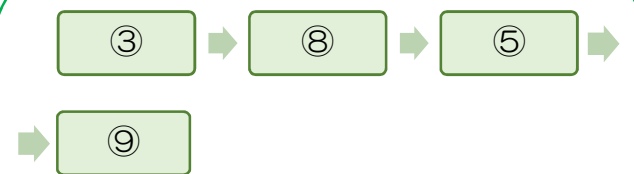


いさはや新池の生態系

北部排水門



## 農業



飼料作物の刈り取り状況

ばれいしょの作付状況



# 【諫早湾干拓全景】



①干拓資料館  
(及び庄屋屋敷)

②むつごろう  
水族館

③中央干拓地内部  
堤防・干陸地

④いさはや新池  
(調整池)

⑤諫早湾干拓営農  
支援センター

⑥諫早湾干拓堤防  
管理事務所

⑨→  
諫早市貝津町

⑦雲仙多良  
シーライン  
中央駐車場  
(潮受堤防)

⑧中央干拓地  
揚水機場・  
排水機場

⑨農林技術  
開発センター

⑩長崎河川  
国道事務所  
諫早出張所

⑩→  
諫早市八天町